

シュプリンガー・ネイチャーセミナー

# 研究成果発信と評価

## 電子書籍のインパクトは評価指標の1つとなり得るか？

日時 6月21日(木) 13:00~17:30 (受付開始 12:30 ~)

会場 ベルサール九段 ルーム4 (東京都千代田区九段北 1-8-10 住友不動産九段ビル3・4F)

同時通訳つき、参加費無料

### 開催趣旨

学術研究成果発表は、殊自然科学の分野に於いてはジャーナルで論文が発表されることが多く、そこにはすでに様々な評価指標が存在します。一方で書籍は出版後の影響がなかなか見えにくく、インパクトを測りにくいといった点がありました。しかし、書籍の電子化が進み、オンラインで配信されるようになってきている現在、紙媒体の時代よりも発見可能性が劇的に高まり、単に書籍を読むだけでない新たな利活用が生まれています。

シュプリンガー・ネイチャーではAltmetric社との協同によって、電子書籍の影響度を測る指標Bookmetrixを開発しました。書籍の電子化によって、書籍の影響度、注目度、引用・利用度など、紙媒体の時代には不可能であったデータが収集できるようになっており、Bookmetrixはまさにそうしたデータを収集し、一か所に集め、可視化したツールです。Bookmetrixが導出する指標をどのように分析し、活用できるかが、今後の書籍を通じた新たな研究業績の評価方法や、その対外的な認知にもつながっていくと期待されます。

本セミナーは、成果の発信者である研究者、著者、成果発信支援にあたるURAや図書館員が一同に会し、研究成果の発信媒体としての電子書籍と、そのインパクトの有用性について議論し、情報共有する場といたく考えています。皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。

ADVANCING  
DISCOVERY Bookmetrix®  
[springer.com/bookmetrix](https://springer.com/bookmetrix)

### プログラム (敬称略)

13:00 - 13:10	開会
13:10 - 13:40	Springer Nature eBook アップデート
13:40 - 14:40	Bookmetrixから見てきた書籍の影響 (仮) Martijn Roelandse (マルティン・ルランセ) Head of Publishing Innovation, Springer Nature
14:40 - 14:55	休憩
14:55 - 15:45	基調講演: 電子書籍の著者が語る出版体験 - 技術の世界展開と情報発信の進化 東京工業大学 科学技術創成研究院 先導原子力研究所教授 加藤之貴
15:50 - 17:20	パネルディスカッション パネリスト: 科学技術・学術政策研究所 林 和弘、 自然科学研究機構 研究力強化推進本部 小泉 周、演者
17:30	閉会



Bookmetrix is available for

 Springerpalgrave  
macmillan

Apress®



## 基調講演, パネリスト

## 加藤 之貴

東京工業大学 科学技術創成研究院 先端原子力研究所教授

<http://www.nrtitech.ac.jp/~yukitaka/>

1991年東京工業大学大学院理工学研究科 化学工学専攻博士課程修了(工学博士)。同大原子炉工学研究所助手を経て、1997年より英国エジンバラ大学、客員研究員。その後、東京工業大学原子炉工学研究所 助教授、准教授、教授を経て、2016年より現職。2017年には米国マサチューセッツ工科大学(MIT) 原子科学工学専攻に客員教授として滞在。国際エネルギー機関(IEA) ECES/Annex 30日本代表専門委員を2015年より務める他、内閣府SIP(戦略的イノベーション創造プログラム) エネルギーキャリア「高温太陽熱供給システム」チーム チームリーダー(2014-2017)など、公的活動にても要職をつとめる。専門はエネルギー変換・貯蔵・輸送、化学蓄熱、水素システム、低炭素源力エネルギーシステム、炭素循環エネルギーシステム。2016年にはSpringerから共編著『Energy Technology Roadmaps of Japan - Future Energy Systems Based on Feasible Technologies Beyond 2030』を出版。



## 講演その2、パネリスト

## Martijn Roelandse (マルティン・ルランセ)

Head of Publishing Innovation, Springer Nature

バーゼル大学で神経生物学の学位(PhD)取得。研究生生活を数年送ったのちSpringer Natureに入社し、神経科学の編集者として活躍。その後、Publishing Innovationに異動し、現在Head of Publishing Innovation。マルティンはSpringer NatureのPublishing Innovationのheadとして、出版に関する先駆的なアイデアやツールの開発プロジェクトを社内外と協働して行っているが、そのひとつがBookmetrixである。マルティンは特に著者サービスや、投稿やプラットフォームの革新に関心を持ち、Bookmetrixの他にも、現在ではPeer review blockchain initiativeなど、出版とテクノロジーの世界両方を注視して、積極的に新規事業に取り組んでいる。



## パネリスト

## 林 和弘

文部科学省科学技術・学術政策研究所、上席研究官

日本化学会の英文誌の電子ジャーナル化と事業化の経験を生かし日本発の情報発信をより魅力的にするための活動を行い、研究成果の受発信の将来と次世代の研究者コミュニケーションのあり方についても興味を持つ。2012年より現職において政策科学研究に取り組んでおり、科学技術予測調査に加えてオープンサイエンスのあり方と政策づくりに関する調査研究に取り組んでいる。現在、内閣府、G7科学技術大臣会合、OECDのプロジェクトにおけるオープンサイエンス専門家として活動。



## パネリスト

## 小泉 周

大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 研究力強化推進本部 特任教授・統括URA

1997年慶應義塾大学医学部卒業、医師、医学博士。2007年自然科学研究機構 広報展開推進室、2013年より現職。専門は網膜視覚生理学、並びに、科学コミュニケーション及び研究力分析、研究マネジメント。2015年、Springerより共編著Optogenetics - Light-Sensing Proteins and Their Applicationsを出版。



## パネルディスカッション モデレーター

## 広瀬 容子

株式会社ラピッズワイド 代表取締役



シュプリングナー・ネイチャー インスティテューショナル・マーケティング

T 03-4533-8091 F 03-4533-8081 E [jpmarket@springernature.com](mailto:jpmarket@springernature.com)

プレゼンタープロフィール(順不同、敬称略)